



楽しくあやとり

撮影：山田吉勝

## ナースウエーブ1周年

全国各地で、医師不足や看護師不足による医療機関や病床の閉鎖、救急医療の廃止等に追い込まれ、救急車受け入れ医療機関が見つからず死亡事件が相次ぐなど、地域医療が崩壊する深刻な事態に直面しています。

全日本民医連が取り組んだ看護師増やせ100万署名が、昨年度衆参両院で全会一致採択されるといふ快挙を成し遂げました。2006年9月の地域医療を守るシンポジウムが全国に広がり、現在では”地域医療を守れ“の願いは圧倒的国民世論となってきました。福岡県下で、多数の医療機関を巻き込んだナースウエーブの会は急速に広がり旺盛に活動しています。

1月19日には、1周年企画として「福岡から九州沖縄へふやせ医師・看護師！地域医療を守るシンポジウム」が約400名の医療関係者や地域の皆さんが参加し博多市民センターで開催されました。鈴木厚氏（川崎市立井田病院地域医療部長）日野秀逸氏（東北大学大学院経済学研究所・経済学部長）の記念講演と県内医療従事者6名のシンポジウムがありました。「医療に従事する若い人から医療をよくする波を立てて欲しい」と呼びかけられ「平和と人権を基盤とした日本経済の発展と医療社会保障の充実」を訴えられました。

米の山病院としても、さらに地域の人々と手を携え「地域医療を守る」取り組みを強めていきます。

総看護師長 湯村 命子



# 医療紹介

眼科 科長 森田 信彦 医師



皆さんこんにちは。

眼科の森田です。米の山病院眼科が開設されてから早いもので10年経ちました。この間皆様と職員の方々に支えられて診療を続けてこられました。深く感謝申し上げます。今は、診療の意欲が落ちないように週1回久留米大学に勉強に行っています。

常日頃、患者様が「目が一番大事ですね」と言われる度に、目の健康を守る眼科の仕事がどんなに大切に責任が重いものかを痛感させられますが、またやりがいもあると思っています。

眼科では主に白内障、緑内障、糖尿病や高血圧による眼底出血を治療していますが、白内障の手術や糖尿病のレーザー治療は安全に配慮しています。特に白内障の手術は、最新の装置と眼内レンズを導入して視力の回復に努めています。昨年は、新しい視野計を導入して、緑内障の診断と治療に役立てています。

これからも宜しくお願いします。

小児科 部長 田島 重吉 医師



米の山病院小児科では、この24年間、喘息医療と障害児医療に力を入れて取り組んできました。一般の病気や予防接種、乳幼児健診、保育園検診、保健所の発達相談にも地道に取り組んでいます。夜間の外来も月々金まで

実施し、仕事帰りのお母さんたちが利用されています。夜間・祝日の小児医療については、大牟田医師会・小児科部会の一員として、毎月第2・第4の土曜日の夜間輪番を担当しています。大牟田市立総合病院の小児科の先生方には大変お世話になっていますが、小児科に限らず、大牟田市立総合病院を大牟田市民の宝として、皆で守っていかないとけないと思います。最後に、米の山病院小児科では、①笑顔であいさつ、②子供へのお楽しみを何かひとつ（風船・シール）、③テレビを消して早寝早起き・朝ごはん、④朝の顔洗い・入浴時の足の水かけ、⑤反核平和の外来での干羽鶴作りを目標に掲げて、取り組んでいます。これからも、宜しくお願いします。



## 薬害肝炎裁判

### 原告と国和解

全国5つの裁判所で行われていた薬害肝炎裁判は、1月15日厚生労働省で、原告代表の山口美智子さんと舩添厚労大臣との間で、国の責任と謝罪などの和解を定めた基本合意書を締結しました。

2002年11月の提訴から5年になる同裁判は、原告たちの命をけずるたたかいによって全面解決の大きな一歩を踏み出しました。同代表は、「やっと頂上に上りつくことができ全員救済の土台ができました」とのべ、国に対し今後も全面解決まで努力することを求めました。

米の山病院では、これまで同原告を積極的に支援してきた立場から、今回の結果を肝炎患者全体の救済につながる一歩として高く評価しています。今後も薬害肝炎問題全体の解決に向け努力していく決意です。

薬剤科 科長 猿渡 圭一郎

# 初の 米の山病院 地域医療連携懇親会



2月14日(木)19時よりオームタガデンホテルに於いて「2008年米の山病院地域医療連携懇親会」を開催しました。初めての取り組みでしたが、親仁会以外より37施設、102名の参加があり、職員合わせて188名規模の懇親会になりました。

主催者代表挨拶の橋口院長



壇上にて当院の医師紹介



大牟田市立総合病院  
院長 中山顕児 先生



大牟田医師会  
会長 西村直 先生



大牟田市保健所  
所長 西岡和男 先生

懇親会では、大牟田市保健所所長西岡和男先生、大牟田医師会会長西村直先生、大牟田市立総合病院院長中山顕児先生よりご挨拶をいただきました。中でも、「今後の地域医療連携は従来の紹介状のみの連携から顔の見える連携に前進させることにより患者様のニーズにあった地域完結型の医療を展開していく。こうした懇親会を積極的に開催し連携を強めていただきたい」との熱いメッセージが寄せられました。歓談では、医師・看護師等の職種を超えて幅広い懇親が出来、有意義な企画となりました。

今回の懇親会は地域の医療機関・開業医の先生更には福祉施設の多くの方々と連携を深めながら医療や福祉を守る取り組みとして第一歩を踏み出しました。

地域医療連携室

副室長 平河 道弘

**大牟田市 2月から  
肝炎ウイルス検査の  
無料実施!!**

大牟田市は2月1日〜来年3月までの肝炎ウイルス検査の無料実施を決めました。

これは国の緊急肝炎ウイルス検査事業にもとづくものですが、薬害肝炎訴訟の原告の皆さんの命がけのたたかいと肝炎患者救済の大きな世論が国を動かし今回の緊急事業が実現しました。大牟田市でも無料肝炎ウイルス検査が行われます。この機会にぜひ受診してください。

●対象者

20歳以上(過去に肝炎ウイルス検査を受けていない市民が対象)

●期間

2008年2月1日〜  
2009年3月31日

●米の山病院で実施中

詳しくは健康増進課まで

☎41・1315

料金は無料です

春のスイーツ

# りんごとカシスのシュトゥーデル風



**材料** 2人分

- りんご……………1個
- カシス(冷凍)……………少々
- 砂糖……………30g
- バター……………30g
- 春巻の皮……………2枚
- 水溶き小麦粉……………少々
- バターまたはマーガリン 適宜



管理栄養士  
垣田あゆみ

ブルーベリーや冷凍のミックスベリーを使用しても良い。



**ワンポイント**

※カシスは色がとても出やすいので、加減して使用しましょう

**作り方**

- ① りんごは皮をおきスライスする。
- ② バターと砂糖を火にかけ、ある程度に溶けたら①のりんごを入れる。弱火で5～6分煮て、その後カシスを加え、火を少々強くしてさらに5分程煮詰める。
- ③ 春巻の皮を1枚広げ中央に②を乗せ包み、バターを塗る。
- ④ オープントースターでこげ目がつくまで(約5分)焼く。



## クイズ 頭の体操

$$\begin{matrix} 0 = 0 & 5 > 0 \\ 2 > 5 & 2 < 0 \end{matrix}$$

これらが成り立つとき、下記の□に入る記号は何でしょう？(ヒント)じ○○ん

0 □ 5 (理由をお書き下さい)

No.25(1月1日号)の答は5頭でした。

逃げ出した動物は、キリンとサイと、それにソウ、しか(鹿)もライオンも逃げ出しました。

多数のご応募ありがとうございました。正解者は19名でした。正解者の中から抽選で下記の5名の方に粗品をお送り致します。  
池田 孝子様(大牟田市)・鐘ヶ江 美和様(大牟田市)・しむた あゆ様(大牟田市)・田中 梨夏子様(大牟田市)・松尾 圭子様(大牟田市)

**応募のしかた**

答えを紙(ハガキ)に書いて、送っていただくか受付までお持ち下さい。FAX、メールでも可。切は2008年3月末日。正解者の中から抽選で5名様に粗品を進呈します。

機関誌や米の山病院についてのご感想、ご意見などもお寄せ下さい。

## ホームページ部門 最優秀賞獲得



全国新年号機関紙誌コンクールにおいて、米の山病院のホームページが最優秀賞に輝きました。2月16日に東京で表彰式が行われ、野中次長が出席しました。ホームページ担当チームの奮闘です。(事務局)

米の山病院の  
ホームページを  
ご覧下さい



様々な取り組みや求人情報などもご案内しています